

地震ハザードマップとは

春日部市への影響が大きいと想定される3種類の地震の震度をもとに、それぞれの場所の震度を照合して最大の震度から「揺れやすさ」「液状化危険度」「建物倒壊危険度」を作成し、これらを「地震ハザードマップ」としています。

■揺れやすさ

「揺れやすさ」とは、地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から地域の揺れやすさを震度（計測震度）として評価したものです。

「揺れやすさ」は、以下の考え方に基づいて作成しています。

- ・計算のための単位は50mメッシュ
- ・実際に発生のおそれがあり春日部市に大きな影響を及ぼす地震を想定
- ・地域の揺れやすさとして、最大震度をメッシュごとに表示

■液状化危険度

「液状化危険度」とは、建物・堤防・橋梁・ライフライン施設などに影響を及ぼす、液状化の可能性の大きさを判定して示したものです。今回作成した「液状化危険度」は、「揺れやすさ」をもとに、春日部市の詳細な地盤情報を活用して作成しています。

■建物倒壊危険度

「建物倒壊危険度」とは、「揺れやすさ」をもとに、建物の構造、建築年次など地域の社会的なデータをあわせることにより地震被害を計算して、建物の被害の度合いを示したものです。

「建物倒壊危険度」は、以下の考え方に基づいて作成しています。

- ・構造（木造／非木造）、建築年次と揺れの大きさから建物被害を計算
- ・地域における建物の全壊棟数率をメッシュごとに表示

想定した地震について

埼玉県が平成19年度に行った地震被害想定に基づいた上で、春日部市への影響が最大となる地震として、下記の地震を想定しています。

■(1) 茨城県南部地震

内閣府中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」の評価に基づいて、マグニチュード7.3の地震を想定しました。

■(2) 関東平野北西縁断層地震

文部科学省地震調査研究推進本部の評価に基づいて、深谷断層から綾瀬川断層北部まで延びるマグニチュード8.0のケースを想定しました。

■(3) 春日部市直下地震

活断層が地表で認められなくても地震は発生することがありますので、全国どこでも起こり得る地震として、春日部市直下でマグニチュード6.9の地震を想定しました。

■想定地震の断層位置図



出典：平成19年度埼玉県地震被害想定調査報告書